


<為替ヘッジあり>

第1期末 (2017年10月25日)	
基準価額	12,641円
純資産総額	739億円
騰落率	26.4%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第1期末 (2017年10月25日)	
基準価額	12,794円
純資産総額	742億円
騰落率	27.9%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506** (コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【愛称】A I 革命 (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)
追加型投信 / 内外 / 株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2016年11月30日~2017年10月25日

第1期(決算日 2017年10月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび第1期の決算を行いました。

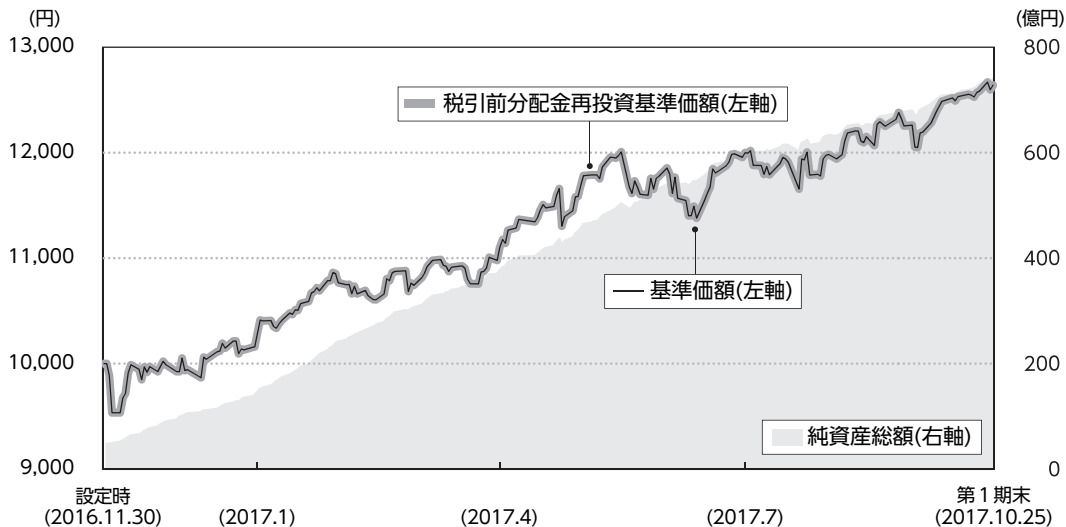
各ファンドは、「TCWファンズII-TCWグローバルA I 株式ファンド (円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス)」への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I (人工知能) 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2016年11月30日～2017年10月25日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	12,641円	騰落率(分配金再投資ベース)	26.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。以下同じです。

■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は大幅に上昇しました。期初は一時下落したものの、米トランプ政権による経済対策への期待や、欧米企業の好調な業績、各国の良好な経済指標などを背景として、株式市場が上昇基調で推移するなか、基準価額は堅調な推移となりました。その後、地政学リスクの高まりなどから一時下落する場面もありましたが、期末にかけておおむね上昇基調を維持しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	129円	1.147%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は11,263円です。</p>
(投信会社)	(38)	(0.342)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(88)	(0.781)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.024)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	129	1.149	

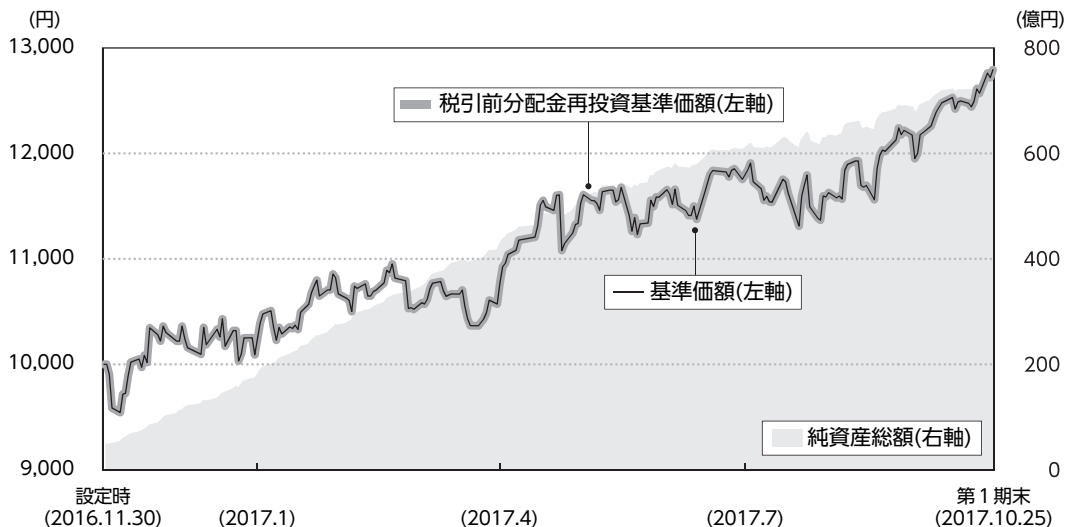
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	12,794円	騰落率(分配金再投資ベース)	27.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。以下同じです。

■ 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は大幅に上昇しました。期初は一時下落したものの、米トランプ政権による経済対策への期待などを背景とした株高および円安から反発上昇しました。その後、株式市場がおおむね上昇基調で推移した一方で、為替市場はボックス圏で上下に振れて推移したことから、基準価額も上下に振れましたが、期を通じると堅調な推移となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	128円	1.147%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は11,153円です。</p>
(投信会社)	(38)	(0.342)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(87)	(0.781)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.024)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	128	1.149	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

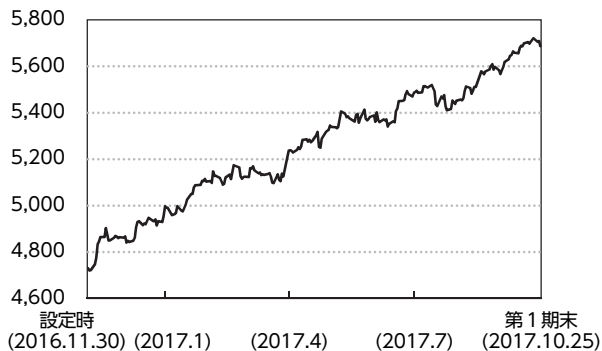
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

投資環境

■ 海外株式市況

【 MSCI World
(配当込み、米ドルベース) の推移 】



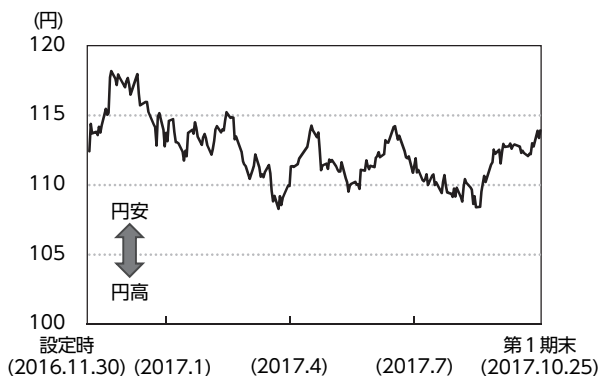
(注) 指数は、ブルームバークのデータを使用しています。

当期の海外株式市場は、大幅に上昇しました。期初より、米トランプ政権による経済対策への期待などから株式市場は上昇し、その後も欧米主要企業の業績が好調であったことなどを背景として堅調に推移しました。

当期後半には、北朝鮮のミサイル発射問題をはじめとする地政学リスクへの懸念などから株価が上下に振れる場面もありましたが、期末にかけては、米トランプ政権による税制改革への期待が再浮上したことや、各国で報告された良好なマクロ経済指標等に支援され、株価は再び上昇しました。

■ 為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 為替レートは、対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の為替市場は、米ドル高円安となりました。

期初は、米トランプ政権による政策や米国の景気拡大への期待などから円安となりましたが、その後は米トランプ大統領による保護主義的な政策への懸念、欧州主要国における国政選挙への懸念などを背景として円高基調となりました。当期半ば以降は、北朝鮮問題をはじめとする地政学リスクや米金融政策の動向に対する市場の見方などから、おおむねボックス圏で上下に振れて推移しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I（人工知能）関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお「為替ヘッジあり」については、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円で「為替ヘッジ」を行い為替変動リスクの低減を図りました。

■TCWファンズⅡ-TCWグローバルA I株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

※ TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

徹底した調査・分析に基づき、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式に投資を行いました。当ファンドにおけるA I関連企業とは、A Iに関する製品・サービスを開発・提供する企業やA Iを活用して事業を展開する企業をさします。

業種別では、当期末時点での組入比率の高い順に情報技術（73.4%）、一般消費財・サービス（11.4%）、不動産（7.3%）としています。国・地域別では、当期末時点でアメリカを89.2%としています。カテゴリ別では、当期末時点でA Iを活用して事業を展開する企業を52.8%、A Iに関する製品・サービスを開発・提供する企業を47.2%としています。

（注1）比率はすべて対組入株式等評価額比です。

（注2）業種はG I C S分類（セクター）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資しました。

ベンチマークとの差異

■各ファンド

各ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■ 為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2016年11月30日～2017年10月25日
当期分配金(税引前)	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,640円

■ 為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2016年11月30日～2017年10月25日
当期分配金(税引前)	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,794円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお《為替ヘッジあり》については、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

足元の株式市場は、北朝鮮のミサイル発射問題をはじめとする地政学リスクへの懸念が高まる場面もありましたが、欧米企業の好調な業績や各国の良好なマクロ経済指標などに支援され、堅調に推移しています。一方で、株価のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）が引き続き高い水準で推移していることに留意する必要があります。中長期的には株式市場の上昇が期待できますが、短期的にはボラティリティ（価格変動性）上昇の可能性も考えられるためです。

当ファンドにおける当期末の中小型株式比率は31.0%となっています。今後も魅力的な中小型企業の発掘に注力しますが、株式市場において株価のバリュエーションが高い水準で取引されていることに加え、ボラティリティが上昇する可能性や、短期的にはテクノロジー関連株が相対的に劣後する可能性も考えられるため、引き続きバランスのとれたポートフォリオを維持することが賢明であると考えています。今後も引き続きA I 関連企業の中小型株式の比率を増やしていく予定ですが、株式市場が大きく下落した場合はさらに積極的に買い増すことも検討します。

A I の必要性を加速させる「人口高齢化」、「エネルギー効率向上の必要性」、「利便性の向上、都市化の推進」、「人的資本の生産性を高める必要性」といった多くの構造的要因からA I が情報化社会における基盤技術になると考えており、人間の指図なしにコンピューター自らが学習し進化していくことはあらゆる産業にとって重要な意味を持ちます。

A I は幅広い分野に適用可能であることから、世界経済のパラダイムシフト（ある時代・集団を支配する考え方が、非連続的・劇的に変化すること）を起こすテクノロジーであり、生産性向上に大きく貢献し、さらにはA I が米国における生産性の停滞期を終わらせる可能性が十分にあると考えています。A I により生産性が向上されれば、1990年代と同様に企業による多くの資本・労働集約型プロジェクトへの投資が可能になり、企業が加速度的に成長し、収益性が改善され、株価の上昇が期待できます。

当ファンドでは、「TCWファンズⅡ－TCWグローバルA I 株式ファンド」の各クラスを通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式に投資を行います。引き続き、TCWアセット・マネジメント・カンパニーのA I 分野における深い技術知識および徹底したファンダメンタルズ・リサーチ（基礎研究）を通して、魅力的なA I 関連銘柄の発掘に努めてまいります。

（注）比率は対現金および組入株式等評価額比です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	TCWファンズII－ TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2016年11月30日	10,000	－	－	10,000	－	－	4,801
1期(2017年10月25日)	12,641	0	26.4	12,641	97.8	0.0	73,986

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズII－ TCWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(設定日)2016年11月30日	10,000	－	－	－
12月末	9,943	△ 0.6	96.9	0.0
2017年 1 月末	10,352	3.5	96.0	0.0
2 月末	10,751	7.5	96.9	0.0
3 月末	10,979	9.8	97.8	0.0
4 月末	11,265	12.7	97.8	0.0
5 月末	11,789	17.9	98.5	0.0
6 月末	11,568	15.7	97.9	0.0
7 月末	11,879	18.8	98.0	0.0
8 月末	12,112	21.1	98.5	0.0
9 月末	12,195	22.0	98.5	0.0
(期末)2017年10月25日	12,641	26.4	97.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2016年11月30日～2017年10月25日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	5,600	62,294,200	－	－

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	10	－	－

利害関係人との取引状況等

2016年11月30日～2017年10月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2017年10月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（円ヘッジクラス）	5,600	72,390,555	97.8
合計	5,600	72,390,555	97.8

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,293千口です。

投資信託財産の構成

2017年10月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド (円ヘッジクラス)	72,390,555	96.6
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	2,518,047	3.4
投資信託財産総額	74,908,612	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	74,908,612,441円
コール・ローン等	2,518,047,371
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド(円ヘッジクラス)(評価額)	72,390,555,072
ニッセイマネーマーケット マザーファンド (評価額)	9,998
(B) 負債	921,618,336
未払金	389,190,000
未払解約金	216,359,091
未払信託報酬	315,680,863
その他未払費用	388,382
(C) 純資産総額(A-B)	73,986,994,105
元本	58,530,983,509
次期繰越損益金	15,456,010,596
(D) 受益権総口数	58,530,983,509口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,641円

(注) 設定元本額 4,801,662,271円
 期中追加設定元本額 61,225,445,001円
 期中一部解約元本額 7,496,123,763円

損益の状況

当期 (2016年11月30日~2017年10月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 935,814円
受取利息	119,396
支払利息	△ 1,055,210
(B) 有価証券売買損益	9,311,545,286
売買益	10,096,397,497
売買損	△ 784,852,211
(C) 信託報酬等	△ 468,169,145
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,842,440,327
(E) 追加信託差損益金*	6,613,570,269
(配当等相当額)	(△ 1,038,554)
(売買損益相当額)	(6,614,608,823)
(F) 合計(D+E)	15,456,010,596
次期繰越損益金(F)	15,456,010,596
追加信託差損益金	6,613,570,269
(配当等相当額)	(△ 1,038,554)
(売買損益相当額)	(6,614,608,823)
分配準備積立金	8,843,376,141
繰越欠損金	△ 935,814

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,843,376,141円
(c) 信託約款に定める収益調整金	6,614,608,823円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	15,457,984,964円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	2,640.99円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	TCWファンズII－ TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2016年11月30日	10,000	－	－	10,000	－	－	4,782
1期(2017年10月25日)	12,794	0	27.9	12,794	98.2	0.0	74,287

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I 関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズII－ TCWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率
	円	%	%	%
(設定日)2016年11月30日	10,000	－	－	－
12月末	10,158	1.6	95.4	0.0
2017年1月末	10,349	3.5	96.3	0.0
2月末	10,606	6.1	96.7	0.0
3月末	10,770	7.7	97.4	0.0
4月末	11,043	10.4	98.1	0.0
5月末	11,526	15.3	98.5	0.0
6月末	11,508	15.1	97.6	0.0
7月末	11,665	16.7	98.1	0.0
8月末	11,840	18.4	98.2	0.0
9月末	12,196	22.0	98.4	0.0
(期末)2017年10月25日	12,794	27.9	98.2	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2016年11月30日～2017年10月25日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	5,566	60,573,400	－	－

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	10	－	－

利害関係人との取引状況等

2016年11月30日～2017年10月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2017年10月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
T CWファンズⅡ－T CWグローバル A I 株式ファンド（ノンヘッジクラス）	5,566	72,923,887	98.2
合計	5,566	72,923,887	98.2

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,293千口です。

投資信託財産の構成

2017年10月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	72,923,887	96.8
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	2,439,511	3.2
投資信託財産総額	75,363,409	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	75,363,409,080円
コール・ローン等	2,439,511,874
T CWファンズⅡ-T CWグローバル A I 株式ファンド(ノンヘッジクラス)(評価額)	72,923,887,208
ニッセイマネーマーケット マザーファンド (評価額)	9,998
(B) 負債	1,076,267,975
未払解約金	751,824,196
未払信託報酬	324,047,548
その他未払費用	396,231
(C) 純資産総額 (A-B)	74,287,141,105
元本	58,063,050,234
次期繰越損益金	16,224,090,871
(D) 受益権総口数	58,063,050,234口
1万口当たり基準価額 (C/D)	12,794円

(注) 設定元本額 4,782,883,256円
 期中追加設定元本額 69,732,554,845円
 期中一部解約元本額 16,452,387,867円

損益の状況

当期 (2016年11月30日~2017年10月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 927,897円
受取利息	242,547
支払利息	△ 1,170,444
(B) 有価証券売買損益	10,669,396,516
売買益	12,350,602,540
売買損	△ 1,681,206,024
(C) 信託報酬等	△ 498,081,723
(D) 当期損益金 (A+B+C)	10,170,386,896
(E) 追加信託差損益金*	6,053,703,975
(配当等相当額)	(△ 1,099,217)
(売買損益相当額)	(6,054,803,192)
(F) 合計 (D+E)	16,224,090,871
次期繰越損益金 (F)	16,224,090,871
追加信託差損益金	6,053,703,975
(配当等相当額)	(△ 1,099,217)
(売買損益相当額)	(6,054,803,192)
分配準備積立金	10,171,314,793
繰越欠損金	△ 927,897

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	10,171,314,793円
(c) 信託約款に定める収益調整金	6,054,803,192円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	16,226,117,985円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	2,794.57円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■運用体制の変更について

新たに統括部長（運用部門）を任命し、チーフ・インベストメント・オフィサー（C I O）を1名から2名体制にしました。あわせて、役職名称をC o - C I Oに変更しました。

（2017年3月25日）

■《為替ヘッジあり》の自社の実質保有比率

2017年9月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.3%保有していません。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

■《為替ヘッジなし》の自社の実質保有比率

2017年9月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.3%保有していません。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2016年11月30日～2026年10月26日		
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式の中から、主にA I（人工知能）関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。	
主要運用対象	ニッセイ A I 関連株式ファンド	「TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（円ヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（ノンヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズII－TCWグローバルA I株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）	日本を含む世界各国の取引所に上場している株式	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。		

TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド

以下は、「TCWファンズⅡ－TCWグローバルAⅠ株式ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2017年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2016年11月30日～2017年3月31日）

	(円)
収益	
受取配当金	117,745,948
受取利息	87,067
現金及び現金同等物に係る為替実現損益	(110,677,380)
損益を通じて公正価値で測定された金融資産および負債の その他公正価値の変動	3,795,408,018
純収益合計	3,802,563,653
費用	
受託者報酬および管理事務代行報酬	9,351,990
監査報酬	2,699,982
業務委託料	72,754,670
管理報酬	5,091,003
設立費用	1,709,423
運用報酬	61,600,341
法務費用	148,947
その他費用	527,357
営業費用合計	153,883,713
営業利益（損失）合計	3,648,679,940
税引前利益（損失）	3,648,679,940
配当源泉税	(32,656,048)
純資産の増減	3,616,023,892

(2) 投資有価証券明細表 (2017年3月31日現在)

The TCW Funds II – TCW Global Artificial Intelligence Equity Fund

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight (%)
Micron Technology, Inc.	USD	711,950	2,293,328,926	3.5%
Arista Networks, Inc.	USD	151,850	2,238,696,306	3.4%
American Tower Corporation	USD	160,300	2,171,559,895	3.3%
Tesla Inc	USD	69,950	2,169,801,154	3.3%
Amazon.com, Inc.	USD	21,500	2,124,495,410	3.3%
Apple Inc.	USD	130,800	2,094,414,595	3.2%
Facebook, Inc. Class A	USD	129,750	2,054,317,997	3.2%
Nuance Communications, Inc.	USD	1,044,100	2,014,457,932	3.1%
Delphi Automotive PLC	USD	215,650	1,934,685,645	3.0%
International Business Machines Corporation	USD	91,950	1,784,716,858	2.7%
Alphabet Inc. Class A	USD	18,750	1,771,796,063	2.7%
Splunk Inc.	USD	246,350	1,710,369,447	2.6%
Western Digital Corporation	USD	181,450	1,669,121,171	2.6%
Gartner, Inc.	USD	135,100	1,626,139,932	2.5%
Adobe Systems Incorporated	USD	112,100	1,625,930,909	2.5%
salesforce.com, inc.	USD	168,000	1,544,648,280	2.4%
Visteon Corporation	USD	137,500	1,501,157,213	2.3%
Cavium, Inc.	USD	169,650	1,355,032,552	2.1%
Nokia Oyj Sponsored ADR	USD	2,222,900	1,342,883,232	2.1%
CyrusOne, Inc.	USD	230,600	1,322,916,688	2.0%
Cornerstone Ondemand, Inc.	USD	304,650	1,320,559,957	2.0%
CoreSite Realty Corporation	USD	130,550	1,310,326,956	2.0%
Take-Two Interactive Software, Inc.	USD	197,900	1,307,373,788	2.0%
Oracle Corporation	USD	259,600	1,290,791,038	2.0%
Cypress Semiconductor Corporation	USD	816,650	1,252,487,612	1.9%
Proofpoint, Inc.	USD	150,450	1,246,954,575	1.9%
Dell Technologies Inc Class V	USD	174,150	1,243,841,472	1.9%
Broadcom Limited	USD	50,850	1,241,008,539	1.9%
Mobileye N.V.	USD	180,700	1,236,646,471	1.9%
Microsoft Corporation	USD	167,450	1,229,209,492	1.9%
Analog Devices, Inc.	USD	133,600	1,220,321,906	1.9%
Teradyne, Inc.	USD	345,902	1,199,036,768	1.8%
ServiceNow, Inc.	USD	122,800	1,197,227,057	1.8%
CA, Inc.	USD	338,350	1,196,240,147	1.8%
ON Semiconductor Corporation	USD	681,650	1,176,879,222	1.8%
EPAM Systems, Inc.	USD	139,500	1,174,235,531	1.8%
Inphi Corporation	USD	199,926	1,087,892,731	1.7%
Silicon Laboratories Inc.	USD	121,924	999,518,687	1.5%
Intuitive Surgical, Inc.	USD	34,350	978,181,976	1.5%
Equinix, Inc.	USD	21,650	966,136,446	1.5%
Accenture Plc Class A	USD	65,100	869,854,742	1.3%
trivago N.V. Sponsored ADR Class A	USD	544,100	790,209,325	1.2%
Veeva Systems Inc Class A	USD	122,050	697,597,340	1.1%
Cerner Corporation	USD	100,100	656,598,042	1.0%
Ciena Corporation	USD	239,400	629,998,002	1.0%
Intel Corporation	USD	149,500	601,044,119	0.9%
NVIDIA Corporation	USD	41,500	503,865,527	0.8%
Alteryx, Inc. Class A	USD	72,192	125,767,113	0.2%
MuleSoft, Inc. Class A	USD	11,816	32,042,886	0.0%

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 12 期

(計算期間：2017年4月18日～2017年10月16日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。

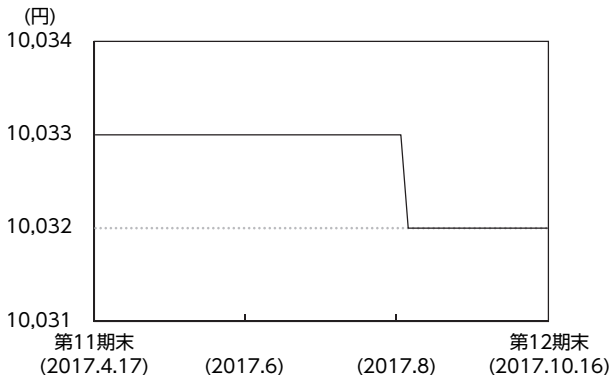


ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過 2017年4月18日～2017年10月16日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

前期末以降、日銀のマイナス金利政策が継続する中、無担保コールレート翌日物は小幅なマイナス圏で、おおむね横ばいに推移しました。こうした環境の下、当マザーファンドの基準価額はわずかに下落し、結局、当期末は10,032円(前期末比-1円)となりました。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
8期(2015年10月15日)	10,030	0.0	79.9	50
9期(2016年4月15日)	10,033	0.0	79.9	50
10期(2016年10月17日)	10,034	0.0	79.6	50
11期(2017年4月17日)	10,033	△0.0	79.4	50
12期(2017年10月16日)	10,032	△0.0	79.5	50

(注) 当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2017年4月17日	10,033	-	79.4
4月末	10,033	0.0	79.4
5月末	10,033	0.0	79.4
6月末	10,033	0.0	79.4
7月末	10,033	0.0	79.4
8月末	10,032	△0.0	79.6
9月末	10,032	△0.0	79.5
(期末)2017年10月16日	10,032	△0.0	79.5

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2017年4月18日～2017年10月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は、「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,033円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2017年4月18日～2017年10月16日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 28,126	千円 — (28,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2017年4月18日～2017年10月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
平成25年度第1回 横浜市ハマ債5公債	10,035	—	—
第1回 東京グローバル都債(円貨)	10,005		
第153回 神奈川県公募公債	8,085		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2017年10月16日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	40,000 (40,000)	40,095 (40,095)	79.5 (79.5)	—	—	—	79.5 (79.5)
合計	40,000 (40,000)	40,095 (40,095)	79.5 (79.5)	—	—	—	79.5 (79.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第1回 東京グローバル都債(円貨)	0.1200	2017/12/15	10,000	10,001
	第153回 神奈川県公募公債	1.8500	2018/3/20	8,000	8,061
	平成25年度第1回 横浜市ハマ債5公債	0.4000	2018/6/28	10,000	10,027
	平成26年度第8回 札幌市公募公債(3年)	0.1100	2018/2/27	2,000	2,000
	平成24年度第3回 千葉市公募公債	0.2400	2017/12/26	10,000	10,004
	合計	—	—	—	40,095

投資信託財産の構成

2017年10月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	40,095	79.5
コール・ローン等、その他	10,340	20.5
投資信託財産総額	50,436	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月16日現在)

項目	当期末
(A)資産	50,436,026円
コーポレート債等	10,306,495
公社債(評価額)	40,095,538
未収利息	30,048
前払費用	3,945
(B)負債	22
未払解約金	3
その他未払費用	19
(C)純資産総額(A-B)	50,436,004
元本	50,273,998
次期繰越損益金	162,006
(D)受益権総口数	50,273,998口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,032円

(注1) 期首元本額 50,254,148円
 期中追加設定元本額 19,937円
 期中一部解約元本額 87円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,934,750円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイ米ドル建て短期ハイ・イールド債券ファンド 通貨プレミアムコース	9,987円
ニッセイ米ドル建て短期ハイ・イールド債券ファンド 為替ヘッジありコース	9,987円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型) Aコース(為替ヘッジあり)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型) Cコース(為替ヘッジあり)	9,984円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型) Dコース(為替ヘッジなし)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ米ドル建て短期ハイ・イールド債券ファンド 為替ヘッジなしコース	9,981円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
ニッセイ為替ヘッジ短期高利回り社債ファンド(限定追加型・早期償還条項付)2014-09	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型)	9,969円
ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/BEA エコインベストメント・アジアボンド・セレクト(3ヵ月決算型)	9,968円
ニッセイ/MFS 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2017年4月18日~2017年10月16日)

項目	当期
(A)配当等収益	59,834円
受取利息	64,035
支払利息	△ 4,201
(B)有価証券売買損益	△ 64,060
売	△ 64,060
買	△ 64,060
(C)信託報酬等	△ 205
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 4,431
(E)前期繰越損益金	166,374
(F)追加信託差損益金	63
(G)合計(D+E+F)	162,006
次期繰越損益金(G)	162,006

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。